

在宅医療連携拠点事業

～当院での小児モデルについて～

埼玉医科大学総合医療センター
田村 正徳

小児在宅医療の特殊性

- 対象者が少なく広域に分布
(埼玉県人口700万人中、600人弱)
- 人工呼吸などの医療依存度及び重症度が高い
- 緊急入院可能な施設が限られる。
- NICUや小児科病棟の長期入院児が社会問題化
- 在宅医、訪問看護師、介護士、リハビリのいずれの職種も重度の障害児に慣れていない。
- ケアマネージャーがいない。ケアマネジメントしている病院主治医は福祉制度に疎い。
- しかし患者家族は高度なレベルのケアを期待している。
- 介護の負担が母親独りに集中しやすい。
- レスパイト施設が極めて少ない。
- 患者の成長、発達、教育の視点が必要。
- 終末期に関する話し合いが持ちにくい、加えて看取る態勢がない。

地域との連携

●特別支援学校への相談支援●

- 埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校への訪問指導 年8回
- 埼玉県坂戸ろう学園への訪問指導 年3回

●ハッピースマイルの会●

当院NICU出身の極低出生時体重児と、家族を対象に子育て支援を目的としたイベントを毎年開催している。

2012年11月23日(祝)に定例のハッピースマイルの会を開催。

NICU卒業生、両親、兄弟姉妹、ボランティア、等185名参加。

この場で重症児の在宅医療に関する講義を行い小児在宅医療の啓発に努めた。

●川越市自立支援協議会への参加●

2012年12月21日、川越市自立支援協議会くらし部会に小児科医師、病棟師長、特定医療看護師がオブザーバーとして参加。

大学福祉学科教授、開業医、訪問看護ステーション、福祉施設、相談支援専門員など総勢20名の中で大学関連病院からの参加は初めてとのことであった。

急性期医療、レスパイト、福祉職の医療的ケア研修に対する期待が大きかった。

2013年3月1日に開催された同部会に、小児科医師2名、小児病棟看護師長、特定医療看護師、医療ソーシャルワーカーが参加。

2012年度 埼玉県小児在宅医療支援研究会

第5回 2012年 6月14日(水)	訪問看護ステーション そら 看護師 梶原厚子先生 「赤ちゃんの成長に寄り添う訪問看護師」
第6回 2012年 9月12日(水)	埼玉県立小児医療センター MSW 平野朋美先生 「MSWに何ができるか ～小児在宅医療と福祉をつなげるシステムを造るために。」
第7回 2012年 11月28日(水)	東北大学小児科 医師 田中総一郎先生 「災害時に備えた小児在宅医療支援活動」
第8回 2013年 2月20日(水)	北海道療育園 医師 林時仲先生 「過疎遠隔地域に居住する 重症心身障がい児者とその家族への支援」

* 多職種に呼びかけ各回平均70名の参加を得ている。

2012年度 埼玉県小児在宅医療 支援研究会

日時

2012年
11月28日
(木)
19:00～21:00

会場

大宮ソニックシティ
会議室 602号室
〒330-8669
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

会費

1000円
にて軽食と飲み物を
用意しております。

第7回 埼玉県小児在宅医療支援研究会

プログラム

19:00▶▶世話人会 (オブザーバー参加可)

19:30▶▶症例検討会 (症例検討基集中 連絡: 森脇まで)

20:00▶▶特別講演

20:10▶▶東北大学小児科 田中 統一郎先生

20:20▶▶【災害時に備えた小児在宅医療支援活動】

20:40▶▶総合討論

事務局

埼玉医科大学総合医療センター小児科
連絡責任者: 森脇 浩一
〒330-8550 埼玉県川越市鴨田 1981
Tel: 049-228-3550 Fax: 049-226-1424
e-mail: kmoriwa@saitama-med.ac.jp
http://shunizaiizakusenkenkyukai.jp/
http://www.happy-at-home.org/

第5回埼玉県小児在宅医療支援研究



日時

・2012年6月14日 (木) 19:00～21:00 (仮)

会場

・大宮ソニックシティ 会議室602号室
〒330-8669埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

参加費

・1000円にて軽食と飲み物を準備しております。

【プログラム予定】

19:00 世話人会 (オブザーバー参加可)
19:30 症例検討会 (希望の症例があれば事務局までご連絡下さい)
20:00 特別講演

訪問看護ステーションそら開設準備室室長

梶原厚子先生

『赤ちゃんの成長に寄り添う訪問看護』

20:40 総合討論

【事務局】埼玉医科大学総合医療センター小児科
連絡責任者: 森脇 浩一
〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981
tel: 049-228-3550, fax: 049-226-1424
e-mail: kmoriwa@saitama-med.ac.jp

第6回



埼玉県小児在宅医療支援研究会

日時

2012年9月12日(水)
19:00～21:00

会場

大宮ソニックシティ
会議室 603号室

〒330-8669
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

会費

1000円
にて軽食と
飲み物を
用意して
おります。

▶▶プログラム

19:00 世話人会 (オブザーバー参加可)

19:30 症例検討会

20:00 特別講演

埼玉県立小児医療センター医療ソーシャルワーカー
平野朋美先生

【MSWは何かできるか
～小児在宅医療と福祉をつなぐ
システムを造るために】

20:40 総合討論

事務局

埼玉医科大学
総合医療センター小児科
連絡責任者: 森脇 浩一
〒350-8550
埼玉県川越市鴨田 1981
tel: 049-228-3550
fax: 049-226-1424
e-mail: kmoriwa@saitama-med.ac.jp
http://shunizaiizakusenkenkyukai.jp/
http://www.happy-at-home.org/

第8回埼玉県小児在宅医療支援研究会

会場

大宮ソニックシティ
会議室 906号室
〒330-8669
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

会費

1000円
にて軽食と飲み物を
用意しております。

日時

2013年
2月20日(水)
19:00～21:00

プログラム

19:00 世話人会 (オブザーバー参加可)

19:30 症例検討会 (希望の症例があれば事務局までご連絡下さい)

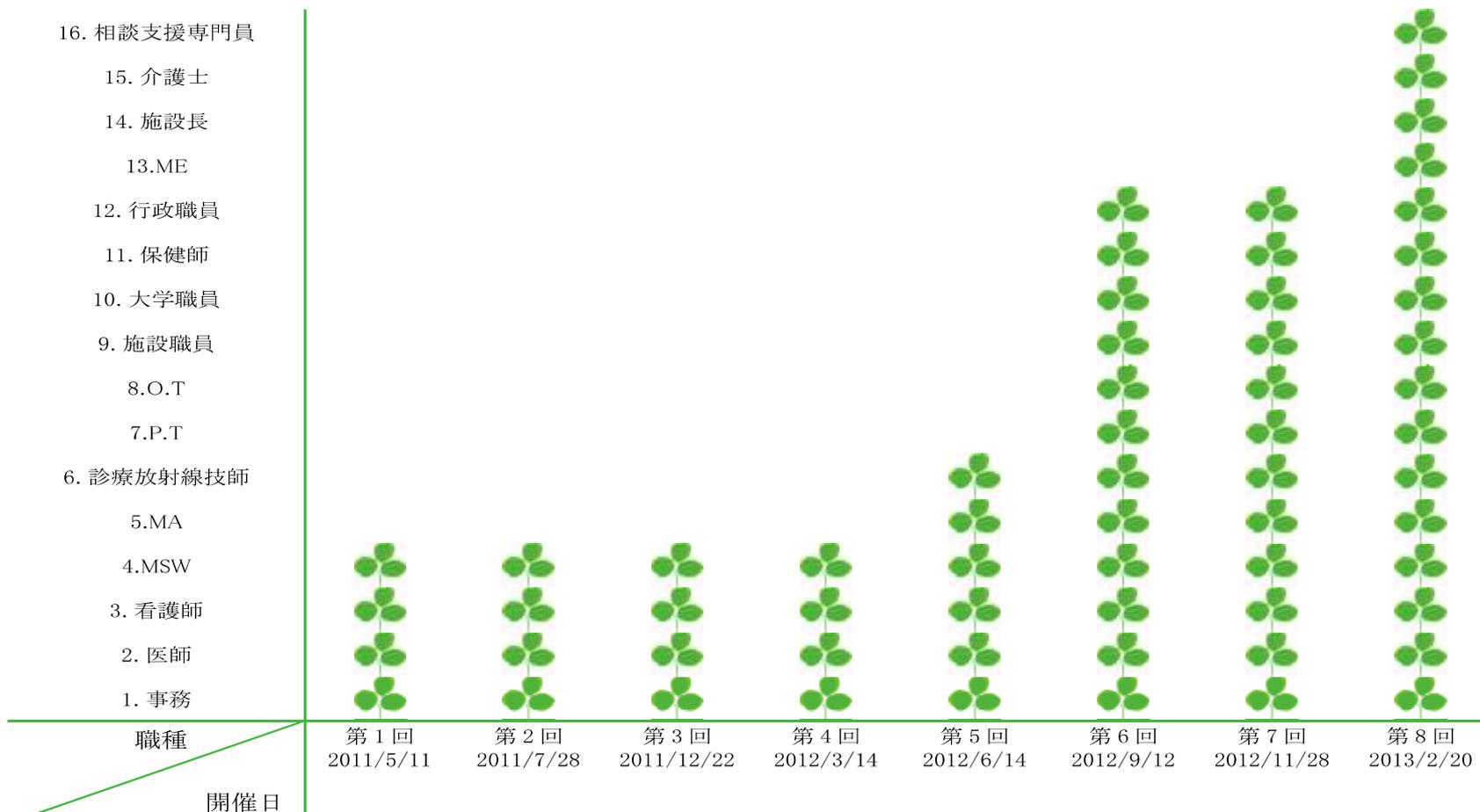
20:00 特別講演
「過疎過隔地域に居住する
重症心身障がい児者とその家族への支援」

20:40 総合討論

事務局

埼玉医科大学総合医療センター小児科
連絡責任者: 森脇 浩一
〒330-8550 埼玉県川越市鴨田 1981
tel: 049-228-3550 Fax: 049-226-1424
e-mail: kmoriwa@saitama-med.ac.jp
http://shunizaiizakusenkenkyukai.jp/
http://www.happy-at-home.org/

多職種連携の課題に対する解決策の抽出



2011年5月11日、第1回開催以来、2013年2月20日で第8回を終えたが、当初は医師中心で事務方も含め4職種であったが、会を重ねる度に多職種に広がり、現在までに行政担当者も含め、16職種の参加を得ている。今後も継続の予定である。

日本小児在宅医療支援研究会HP

http://www.happy-at-home.org/

「乳幼児の在宅医療を支」 x KENKYUUKAI.jp 管理機 x 第一回日本小児在宅医療 x

www.happy-at-home.org/index.cfm

TOPページへ | お問い合わせ

乳幼児の在宅医療を支援するサイト ～日本小児在宅医療支援研究会～



小さな命と家族のために

ここは、高度な医療的ケアを必要としながら
病院を退院する赤ちゃんのご家族が
ご自宅や地域での生活に順調に移行できる
ように支援するために、必要な課題を議論し
解決するためのサイトです

医療的ケアを必要とする乳幼児のための在宅支援研究会

トピックス・ニュース
2012/10/30
「第2回日本小児在宅医療支援研究会」を開催致しまし
た。

2011/09/27
在宅支援マニュアルの一部を変更しました。

2011/09/25
栄養管理マニュアル一部を変更しました。

2011/09/20
サイトのデザインを変更しました。

研究会のイメージ

医師 × 地域

↓

赤ちゃんの生活が順調に移行

最終更新日:2013/01/06

TOPページ・代表挨拶

活動報告

埼玉県小児在宅医療支
援研究会

在宅支援マニュアル

栄養管理マニュアル

研究報告書

16:40
2013/01/06

埼玉県小児在宅医療資源地図の作成と公開

<https://maps.google.co.jp/maps/ms?msid=203938964602778158025.0004a08b51e3d2660afd6&msa=0&ll=36.001341,139.441223&spn=0.555497,1.018982>

電子メールID検索 x 埼玉県の小児在宅医療ネ...

← → ↻ 🏠 <https://maps.google.co.jp/maps?hl=ja&tab=wl> ☆ ☰

+You 検索 画像 地図 Play YouTube ニュース Gmail ドライブ カレンダー もっと見る -

Google Michiaki Nagura

ルート・画像案内 マイブレイス

共同編集 インポート 完了 保存済み

タイトル
埼玉県の小児在宅医療ネットワーク

説明
埼玉県の中に点在する中核病院、重点施設、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションの所在地を地図上にプロットし、在宅医療が必要な小児にとっての有益な情報ツールとする。
※各施設に記載してある診療条件・受け入れ条件等はあくまで目安とお考え下さい。実際に御利用いただく際プライバシー設定と共有設定 詳細

- 一般公開 - すべてのユーザーと共有されます。この地図は検索結果やユーザープロフィールに表示されます。
- 限定公開 (URL で共有) - この地図の URL (アドレス) を知っている人だけが地図にアクセスできます。

📍 春日部市立病院
H- 春日部 - 1 重症の障がいを持つ子に対する診療: 基本的に可 〒344-8586 埼玉県春日部市中央7-2-1 TEL: 048-735-1261(代)

📍 さいたま市立病院
H- さいたま - 1 重症の障がいを持つ子に対する診療: 基本的に可 〒336-8522 埼玉県さいたま市緑区玉葉2460 TEL: 048-873-4111(代)

📍 戸田中央総合病院
H- 戸田 - 1 重症の障がいを持つ子に対する診療: 条件付可 〒331-0023 埼玉県戸田市本町1-19-13 TEL: 048-442-1111(代)

📍 国立埼玉病院

10 km

7:26
2012/10/27

自宅の近くにある医療施設を探すことができる。

目印が移動されました。 取道

航空写真
交通状況

埼玉県の小児在宅医療ネットワーク

埼玉県の中に点在する中核病院、重心施設、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションの所在地を地図上にプロットし、在宅医療が必要な小児にとっての有益な情報ツールとする。

※各施設に記載してある診療条件・受け入れ条件等はあくまで目安とお考え下さい。実際に御利用いただく際は各施設へ必ずお問い合わせください。

一般公開・共同編集者 9人・表示回数 1,792
2011年4月10日作成・投稿: Michiaki・1分前更新
この地図に評価を付ける・コメントを投稿・KML

- 埼玉医科大学総合医療センター**
H-川越-1 重症の障がいをもつ子に対する診療: 基本的に可 〒350-0844 埼玉県川越市鶴田1981 TEL: 049-228-3400(代)
- 埼玉医科大学病院**
H-入間部-1 重症な障がいをもつ子に対する診療: 基本的に可 〒350-0451 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38 TEL: 049-276-1111(代)
- 春日部市立病院**
H-春日部-1 重症の障がいを持つ子に対する診療: 基本的に可 〒344-8588 埼玉県春日部市中央7-2-1 TEL: 048-735-1261(代)
- さいたま市立病院**
H-さいたま-1 重症の障がいを持つ子に対する診療: 基本的に可 〒336-8522 埼玉県さいたま市緑区三堂2460 TEL: 048-873-4111(代)
- 戸田中央総合病院**

GOOGLEマップの使い方

- マーカーは医療施設毎に色分けされている。
- それぞれの医療施設に関する情報は、Google mapのマーカーを選択するとポップされる。
- さらに詳しい情報は、添付されているExcelファイルから符号で参照できる。



H：病院（9施設）



C：診療所（17施設）



I：医療型障がい児入所施設（2施設）



N：訪問看護ステーション（39施設）



K：訪問介護事業所（34施設）



J：児童相談所（8施設）



P：保健所（8施設）

EXCELファイルでさらに検索

ウェブサイトに添付されたExcelファイルを開き、当該患者を受け入れてもらえるかどうかを確認できる。

訪問看護ステーション(N) 39件

施設番号	施設名	郵便番号	住所	電話番号(代表)	小児の患者の訪問看護の受け入れ	条件															
						年齢	体重(kg)	清拭	沐浴	在宅酸素療法	口腔内の吸引	気管切開孔の吸引	人口呼吸器	経鼻胃管の挿管	経鼻十二指腸チューブ	経腸栄養	中心静脈栄養	膀胱洗浄	導尿	経膜透析	
N-さいたま-1	(区)慈正会 訪問看護 339-0057	さいたま市岩槻区	048-757-7191	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-さいたま-2	東大宮訪問看護ステーション 337-0051	さいたま市見沼区	048-688-8388	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-さいたま-3	(区)聖仁会 訪問看護 338-0824	さいたま市桜区	048-840-3930	条件付き可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-さいたま-4	さいたま市社協訪問看護 330-0844	さいたま市大宮区	048-645-7474	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-さいたま-5	(区)聖霊会 看護ステーション 330-0804	さいたま市大宮区	048-276-1135	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-さいたま-6	(社)埼玉県看護協会 338-0002	さいたま市中央区	048-355-4770	条件付き可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-さいたま-7	はみんぐ訪問看護ステーション 336-0061	さいたま市南区	048-845-7311	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-さいたま-8	ケアサービスキリン 336-0025	さいたま市南区	048-762-6772	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-さいたま-9	はみんぐ訪問看護ステーション 331-0802	さいたま市北区	048-662-7311	条件付き可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-越谷-1	(社)越谷市医師会 343-0011	越谷市増林	048-967-0005	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-福川-1	訪問看護ステーション 363-0027	福川市川田	048-769-3085	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-吉川-1	(社)吉川松伏医師会 342-0065	吉川市吉川	048-982-9155	条件付き可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-久喜-1	JM埼玉県厚生連久喜病院 340-0122	久喜市上里	0480-44-8304	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-狭山-1	(区)清心会 聖隷訪問看護 350-1322	狭山市下奥	04-2952-8003	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-狭山-2	入間川訪問看護ステーション 350-1307	狭山市祝	04-2959-0888	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-狭山-3	狭山市医師会訪問看護 350-1304	狭山市狭山	048-228-3711	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-狭野-1	訪問看護ステーション 350-0212	狭野市大字	048-268-3801	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-所沢-1	医療生協 所沢訪問看護 359-1143	所沢市真木町	04-2924-1119	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-所沢-2	にこにこ訪問看護ステーション 359-1106	所沢市東狭山	04-2931-7234	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-所沢-3	訪問看護ステーション 359-1152	所沢市北野	04-2947-0900	基本的可	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



小児在宅医療に従事する人材育成

2012年 11月8日(木)・9日(金) 2013年 1月10日(木)・11日(金)	保健師対象の研修会を開催 講義に「NICU長期入院児の在宅医療支援の重要性」を入れる
2013年 1月27日(日) 2月2日(土) 3月2日(土)・ 9日(土)・16日(土)	訪問看護師対象の研修会 5回シリーズ開催中
2013年 2月24日(日)	多職種対象のワークショップ開催
2012年10月28日(日) 第2回 2013年3月20日(祝)	医師対象のワークショップと実技講習会開催
特別支援学校や療育センターに出向き医療ケアを指導	

当該拠点事業活動の特徴

- 全国、県全体のレベルでのネットワークの構築
- 第二回日本小児在宅医療支援研究会、第5-8回埼玉小児在宅医療支援研究会の開催
- ホームページでの県内医療資源情報提供
- ウェブサイトなどのITCの活用
- 小児在宅医療関係の人材育成
- 県内唯一の総合周産期母子医療センター・24時間小児救急体制の活用
- 地域の特別支援学校、療育センター、教育機関、訪問看護、介護事業所、各支援事業所、福祉施設との連携
- 小児在宅ホームモニタリングシステムの活用



小児在宅医療を推進するための今後の課題と対策

- 新生児医療・小児救急医療の乏しい人材
 - 成人の在宅医療関係者の有効活用
 - 更なる人材育成:特に相談支援専門員の育成と活用
- 高度ケアを必要とする児の緊急入院の保障
 - 広域でのネットワークの構築
 - ウェブサイトなどのITCの充実と活用
 - 小児在宅ホームモニタリングシステムの普及
- レスパイトの保証システムの構築
 - 小児科医療機関と重心施設の連携



～めあて～

ひとりひとりが大切にされ
差別や偏見のない
思いっきり生きる力を発揮できる
社会環境の構築に向けて
力を合わせたいと心より願います。

ご清聴を感謝いたします

